

公立大学法人 大分県立看護科学大学
平成24事業年度の業務実績に関する
全体評価結果

平成25年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

全体評価

評価結果と判断理由

評価結果

全体として年度計画を順調に実施している。

判断理由

- ①大項目のうち「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目の評価についてはS評価（特筆すべき進行状況にある）、「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」、「Ⅲ財務内容の改善に関する目標」、「Ⅳ自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」、「Ⅴその他業務運営に関する目標」のいずれの項目もA評価（計画どおり進んでいる）であること。
- ②「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目については、きめ細かな学生への指導の結果、看護師、助産師、保健師の国家試験合格率100%を達成したこと。
- ③「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」の項目については、看護研究交流センターを再編し、専任教員の配置を決定するなど、運営体制の強化を図ったこと。

<委員会からのコメント>

- ・NP（診療看護師）などの先駆的な取組をはじめ、以前より、教育、研究の質の向上によく取り組んでいる。
- ・国家試験合格率100%を継続して行ってほしい。
- ・経費の節減に、よく努めている。

【参考：大項目評価の結果】

I 教育研究等の 質の向上	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
II 業務運営の改 善及び効率化	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
III 財務内容の改 善	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
IV 自己点検・評 価及び情報提供	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
V その他業務運 営	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり

公立大学法人 大分県立看護科学大学
平成24事業年度の業務実績に関する
項目別評価結果

(大項目評価)

平成25年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

大項目評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	---------------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、41項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
- ②下記の「大項目評価に当たり勘案した事項」に示すように、NPなどの先駆的な取り組みはもちろんのこと、きめ細かで柔軟な指導体制を整備し、看護師、助産師、保健師の国家試験合格率100%を達成したこと。
- ③学部4年間での看護師教育のカリキュラムが改良されたこと。
- ④小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

※特筆すべき項目

○教育の内容及び到達目標

- ・看護師教育の実習段階の見直しを図り、カリキュラムの改良を行った。
- ・大学院修士課程において、保健師教育は、実習の報告会を実習施設とともに行い、地域課題の共有を図った。助産師は、高機能シミュレーターを用いた実習前の実技試験を行うことにより、実習での助産診断技術の向上が図られた。

○教育の実施体制

- ・従来より取り組んできた「看護技術習得確認シート」を完成させた。これにより、学生は自分で到達度を確認しながら実習を行うことができるようになった。
- ・NP修了生のフォローアップのため、国立長寿医療研究センターと共同で研修システムを構築後、修了生8名が研修へ参加し、レベルアップを図った。

○学生への支援

- ・きめ細かで柔軟な指導体制の整備の結果、看護師、助産師、保健師の国家試験合格率100%を達成した。
- ・就職相談員を配置し、相談体制を整備した結果、県内就職率が上昇した。

○研究の方向

- ・訪問看護認定看護師の修了生を中心とした在宅看護従事者のネットワークを構築し、研究活動報告会を開催した。
- ・県国保連合会と包括協定を締結し、県内の各市町村の健康課題について、共同で研究し、解決できる体制を整えた。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
教育	23(9)			15(1)	8(8)
研究	6(4)			3(1)	3(3)
社会貢献	12(4)			8	4(4)
合計	41(17)			26(2)	15(15)
ウエイト考慮 後の合計	58			28	30

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、41項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価(計画どおり進んでいる)となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

・NPなどの先駆的な取り組みをはじめ、以前より、教育、研究の質の向上によく取り組んでいる。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、17項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○開かれた大学運営

- ・PM2.5及び放射線問題で、県内外の自治体の活動を支援した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
運営体制	7(3)			4	3(3)
人事の適正化	10(1)			9	1(1)
合計	17(4)			13	4(4)
ウエイト考慮 後の合計	21			13	8

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、17項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

<p>①小項目評価の集計結果では、21項目のすべてがⅢ（順調に実施している）であること。</p> <p>②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。</p>

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

<p>○外部資金の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科研費申請書類の作成について、理事長が直接、希望教員へ指導した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
自己収入・外部資金の獲得	6			6	
経費の効率化	7			7	
資産の適正管理・有効活用	8			8	
合 計	21			21	

(注) ウェイト付けした項目はない。

※小項目評価の集計結果では、21項目のすべてがⅢの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

<ul style="list-style-type: none"> ・経費の節減などによく努めている。

IV 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 情報公開や情報発信の推進
 ・広報誌「風のひろば」を創刊し、後援会や卒業生、関係機関等への情報発信に努めた。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
自己点検・ 自己評価	4			4	
情報公開・ 情報発信	6 (1)			5	1 (1)
合 計	10 (1)			9	1 (1)
ウエイト考慮 後の合計	11			9	2

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、10項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

V その他業務運営に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、16項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
 ②小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められないこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特筆すべき小項目はなし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
施設・設備の 整備・活用	5			5	
安全管理	8 (1)			7	1(1)
人権尊重推進	3			3	
合 計	16 (1)			15	1(1)
ウエイト考慮 後の合計	17			15	2

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、16項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし